

CAE で当たりをつけ現場でつくり込み、 金型削り直しをなくし、 生産性 6 割向上

(株)八光技研 ●

(株)八光技研（滋賀県東近江市）は自動車部品の試作板金を中心に、農機具、建設機械、弱電などさまざまな部品の試作・少量生産を手がける。2014 年から金型構想やプレス成形シミュレーションに CAE ソフトを活用。経験の浅い技術者でもベテランの経験値に頼ることなく難易度の高いモノづくりを可能にした。金型の削り直しや金型構想にかかるコストや時間が減り、推定で生産性が 6 割向上。CAE の導入により試作板金の工程そのものが大きく変わったという。

試作板金・少量生産にこだわる

同社は 2007 年創業の若い会社である。安井謙治社長（写真 1）の前職はレーザー加工機のオペレーター。難易度の高い板金加工を得意としたが、なかなかそのチャンスに恵まれなかった。プレスや機械加工など、レーザー以外の加工にも興味を持ち、転職先を探したが見つからず、26 歳のときに起業した。初めはレーザー加工機 1 台だけのビジネスだったが、技術力や発想の豊かさが評判を呼び次々と顧客を獲得。念願の 1,500 t プレス機を

はじめ金型製作用の工作機械などを順次装備し、従業員数も年々増えた。現在、業務の流れで最も多いパターンは、機械加工による金型製作→プレス加工→レーザー加工である（写真 2、3）。

持ち味は、プレス品を流れ作業のように製作するのではなく、案件ごとにアイデアを凝らした妥協のないモノづくり。「当社の立ち位置は大企業から仕事を受けること。お客さま側から指値を受けるケースも多いため、金型を限界まで薄くするなど、コストダウンにも努めています」（安井社長）。

たとえば、絞り型を押し型に転用できるように細工を施したりするなど一般的なプレス加工や板金会社がやらないことにも果敢に取り組む。また敷地内に溶鋳炉を設置し、鑄造まで自前で行っている。機械加工時に排出される ZAS 材などの削りカスは、専門業者に頼んで再生してもらうのが普通だが、その費用を浮かすためである。

会社概要

会社名：(株)八光技研
 代表者：代表取締役社長 安井謙治
 本社：〒529-1571 滋賀県東近江市川合町 1
 TEL：0748-55-3181
 設立：2007 年
 資本金：300 万円
 売上高：4 億円（2017 年 7 月期）
 従業員数：12 人

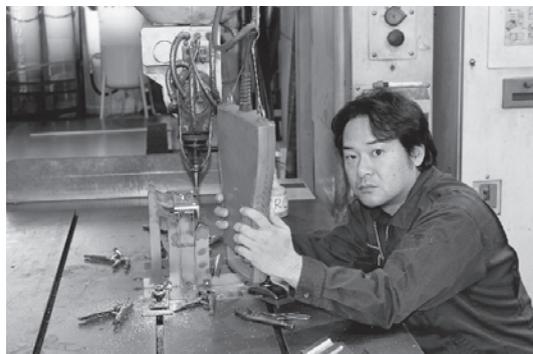


写真 1 安井謙治社長